

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①多様な進路選択に対応できる教育課程を編成し、生徒の希望に応えられるように学習の機会を提供する。</p> <p>②主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。</p> <p>③学校行事や生徒会活動を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。</p>	<p>①令和4年度入学生に向けて新教育課程に関する周知を図る。</p> <p>②ICTの活用を一層推進するなど、主体的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組む。</p> <p>③社会状況に応じた学校行事を開催するとともに、生徒がより自主的に取り組む学校行事となるよう支援する。</p>	<p>①学校説明会や新入生向けのパンフレット、ホームページの内容などを刷新する。</p> <p>②生徒が主体的に取り組む授業に向けて、ICTの活用や授業の振り返りなど、授業研究に積極的に取り組む。</p> <p>③生徒会本部役員との意思疎通を図り、学校行事等に生徒の意見を取り入れて主体的に運営・活動する機会を作る。</p>	<p>①学校説明会や入学予定者説明会のアンケート</p> <p>②生徒による授業評価</p> <p>③各行事における生徒及び教員へのアンケート</p>					
2	生徒指導・支援	<p>①礼儀正しさを意識して、安心・安全な学校生活を送れるよう支援するとともに、個に応じた教育相談体制の充実を図る。</p> <p>②自分自身に目を向け、学校行事や部活動を通して、奉仕や協調の精神の涵養を図る。</p>	<p>①各学年で統一したルール(生活のしおり)の徹底を図り、生徒一人ひとりに根気強く指導を行っていく。</p> <p>①生徒に相談体制の周知を図り、個に応じた支援が速やかに行えるように体制づくりを進める。</p> <p>②感染防止対策を講じながら、生徒が自主的・主体的に取り組む部活動等の運営を目指す。</p>	<p>①学年会、グループ会を通して情報交換を密にし、定期的な頭髪指導などを引き続き実施していく。</p> <p>①掲示物による周知、アンケートの活用、また各学年に相談係を置くなどしてケース会議に繋げ、適切な早期支援ができる体制を構築する。</p> <p>②各部の部長との意思疎通を図り、コロナ禍でも生徒が自主的・主体的に充実した部活動等を行えるよう活動内容を工夫して支援する。</p>	<p>①全生徒に対する指導対象者の割合</p> <p>①生徒からの相談件数と必要に応じて組織的にケース会議が開けたかどうか。</p> <p>②入部率を含めた部活動等の活動状況</p>					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①自己理解を深め、進路意識を向上させて、生徒一人ひとりが自らの進路希望を実現できる進路指導の充実を図る。	①将来を考えさせるキャリア教育を実施し、目標を設定させてその実現に向けて支援を行う。 ①生徒が3年間活用できる進路資料や外部教育力の活用によって、見通しをもった進路計画がたてられるよう支援をする。	①進路指導計画に基づき、進路説明会、研修会などの進路行事を計画的に実施する。 ①新たに作成した進路資料を配付し、3年間を通じた進路指導を行う。 ①外部教育力等を活用するなど、入試の変更点等を生徒・保護者に周知し意識を高める。	①進路行事を計画的に実施できたか。 ①主な大学への進学数・割合 ①生徒の進路満足度					
4	地域等との協働	①交流や協働活動を通して、生徒の社会性の育成を図るため、これまでの地域との連携を継続する。 ②学校運営協議会を中心とした、地域に開かれた学校づくりに取り組む。	①可能な限り感染防止等に努めながら、コロナ禍でもできる交流を工夫し、篠原西小学校や保育園、幼稚園、地域との協働を進める。 ②学校運営協議会等により、学校からの情報発信に努めるとともに、地域からの意見を聴く機会を設ける。	①対面での交流が難しい場合でも ICT の活用等を含め、生徒が「共生」を意識しながら活動できるように事前指導・事後指導を行う。 ②少なくとも年1回は対面による学校運営協議会を開催し、対面で実施できない場合は、書面等できめ細かく情報のやり取りを行う。	①感染防止対策を講じながら、生徒に充実した活動をさせる事前指導・事後指導ができたか。 事後アンケート ②学校運営協議会を開催し、各部会においても意見聴取することができたか。					
5	学校管理 学校運営	①環境に配慮した設備・備品等の整備・活用に取り組む。 ②防災意識の向上を図る。 ③人権についての知識を深め人権尊重精神の涵養を進める。	①環境への配慮や教員の働き方改革を推進するため、教育環境の向上に努め、備品等の整備・活用に取り組む。 ②防災意識の向上を図るために防災教育方法を工夫する。 ③人権についての知識と理解をより深める。	①教育環境向上のために ICT チームの円滑な業務遂行を支援するとともに、設備・備品等の整備・活用の体制を整える。 ②ICTの活用を含め、防災に興味を持ち知識を得ることができるような効果的な防災避難訓練やDIG等の防災教室を実施する。 ③適切な研修テーマを設定して効果的な人権研修を実施する。	①設備・備品等の整備・活用の体制を整えたか。 ②防災避難訓練や防災教室実施後のアンケート ③研修アンケート					

